

区分	No.	コメント		回答	備考
		日付	内容		
審査会合コメント					
火山	1	H27.6.5	噴火活動が一回の火山についての将来活動可能性がないと判断する説明を追記すること。	H27.8.4ヒアリング	
火山	2	H27.6.5	降下火砕物の水流の影響については、コア観察結果等を説明すること。	H27.8.4ヒアリング	
火山	3	H27.6.5	新しい火口の開口の影響可能性において、凡例の「第四紀火山」を「将来活動の可能性のない第四紀火山」に変更すること。	H27.8.4ヒアリング	
火山	4	H27.6.5	妙高山及び新潟焼山については、火砕流の分布や層厚を文献・地質図で詳細を確認し影響がないことを示すこと。	H27.8.4ヒアリング	
火山	5	H27.6.5	降下火砕物の影響可能性について、過去最大噴火規模をVEI5とした根拠を示すこと。	H27.8.4ヒアリング	
火山	6	H27.6.5	降下火砕物の影響可能性について、富士山宝永噴火時の気象について説明すること。	H27.8.4ヒアリング	
火山	7	H27.6.5	降下火砕物の影響評価について、富士山ハザードマップ検討委員会の解析結果の解析条件を記載すること。	H27.8.4ヒアリング	
火山	8	H27.6.5	妙高より噴火規模が大きい火山の影響について説明すること。	H27.8.4ヒアリング	
火山	9	H27.8.7	補足資料中の「活動期間を評価出来ない火山の活動可能性」の評価に係わる深部低周波地震や地温勾配のデータを、本編資料に移すこと。	H27.10.16審査会合	
火山	10	H27.8.7	地温勾配と地殻熱流量のデータの詳細について、補足説明をすること。	H27.10.16審査会合	
火山	11	H27.8.7	将来の火山活動可能性が否定出来ない火山の抽出フローを追加すること。	H27.10.16審査会合	
火山	12	H27.8.7	阿相島テフラの堆積状況について詳しく説明すること。	H27.10.16審査会合	
火山	13	H27.8.7	不動滝テフラの堆積状況について、阿相島テフラと同様に説明すること。	H27.10.16審査会合	
火山	14	H27.8.7	降下火砕物の評価について、評価対象火山の抽出において例外となっているもの（妙高山）について説明すること。	H27.10.16審査会合	
火山	15	H27.8.7	将来の活動可能性評価に当たっては、複数の知見を総合的に判断して評価すること。（例えば、砂子原カルデラは、噴火年代についても水垣(1993)などの異なった評価内容もある。）	H27.10.16審査会合	
火山	16	H27.8.7	四阿山の概要の記載が、古い文献に基づくものであると思われるので、確認すること。	H27.10.16審査会合	
火山	17	H27.8.7	阿相島テフラの名称について、他の文献の名称との対比を示すこと。	H27.10.16審査会合	
火山	18	H27.10.16	給源不明のテフラに確認されているラミナの詳細を説明すること。	H27.11.20審査会合	

区分	No.	コメント		回答	備考
		日付	内容		
火山	19	H27.10.16	給源不明テフラについて、純層として評価出来る部分があるのか否か説明すること。	H27.11.20審査会合	
火山	20	H27.10.16	給源不明テフラについて、粒度分析を行うこと。	H27.11.20審査会合	
火山	21	H27.10.16	給源不明のテフラの露頭スケッチと露頭全体写真（遠景）を示すこと。	H27.11.20審査会合	
火山	22	H27.10.16	水中と陸上で確認されている火山灰（例えば、白頭山苦小牧テフラ）について、水中および陸上で堆積層厚の相違が見られるなどの知見がないか確認すること。	H27.11.20審査会合	
火山	23	H27.11.20	粒度について、給源不明テフラの粒度分析を実施したものではなく文献値を採用した理由を示すこと。	まとめ資料に反映	

区分	No.	コメント		回答	備考
		日付	内容		
ヒアリングコメント					
火山	1	H27.4.27	完新世に活動を行っていない火山のうち、将来の火山活動可能性が否定できない火山の抽出については、そのベースとなる階段ダイヤグラムを示して説明すること。その際、火山活動が過去1回のみ認められている火山に係る評価の考え方についても説明すること。	H27.5.25ヒアリング	
火山	2	H27.4.27	降下火砕物の影響可能性に関して、敷地内で降下火砕物が確認されていないのであれば、それを追記すること。	H27.5.25ヒアリング	
火山	3	H27.4.27	敷地周辺で確認されている降下火山灰の整理において、常楽寺については、評価対象火山の抽出及び堆積量評価フローによる抽出と矛盾が生じていないことを説明すること。	H27.5.25ヒアリング	
火山	4	H27.4.27	評価対象火山の抽出及び堆積量評価フローにおいて、抽出観点①（発電所と火山との位置関係）については、他の発電所における事例も確認した上で、その設定を検討すること。	H27.5.25ヒアリング	
火山	5	H27.4.27	降下火砕物シミュレーションに係る評価条件のうち、ラジオゾンテの定期観測データについては、どこで観測したのかを追記すること。	H27.5.25ヒアリング	
火山	6	H27.4.27	妙高山の階段ダイヤグラムについては、積算噴出量（縦軸）の起点が0ではなく、20となっている理由を確認すること。	H27.5.25ヒアリング	
火山	7	H27.4.27	那須岳の階段ダイヤグラムについては、那須-白河テフラ群の記載方法に係る補足説明を追記すること。	H27.5.25ヒアリング（地層の積み重なりによる層位関係とテフラの年代測定値の誤差によるものであることを説明。）	
火山	8	H27.5.25	阿相島テフラが給源不明のテフラとして敷地内で約35cmの層厚で確認されたとしているが、これを採用せず、基準火砕物堆積量を30cmと設定した理由について説明すること。	H27.6.5審査会合	
火山	9	H27.5.25	敷地内で後期更新世以降に堆積した厚い降下火山灰がないか確認すること。	H27.6.1ヒアリング	
火山	10	H27.5.25	プラント運用期間中に想定される噴火規模の検討については、階段ダイヤグラム以外に噴火活動の衰退傾向も判断根拠としているが、説明が十分でないので、文献のデータも示し、噴火規模の評価に係る情報を増やすこと。	H27.6.1ヒアリング	
火山	11	H27.5.25	階段ダイヤグラムとその説明に係る記載とが一致しないので、説明性を高める記載に修正すること（例えば、高原山）。	H27.6.1ヒアリング	
火山	12	H27.5.25	降下火砕物の堆積量の評価については、不確かさの考慮ケースとして設定したパラメータの設定根拠について説明すること。	H27.6.1ヒアリング	
火山	13	H27.5.25	火山性土石流については、敷地周辺の河川の流下方向が敷地へ向いていないとしているが、これらの河川に火山性土石流が流れ込む可能性のある火山を整理して示すこと。	H27.6.1ヒアリング	
火山	14	H27.5.25	図中の赤丸と数字の凡例を記載するとともに、テフラの層厚について注釈を付けること。	H27.6.1ヒアリング	

区分	No.	コメント		回答	備考
		日付	内容		
火山	15	H27.5.25	髻山については、火山噴出物の分布範囲がわかるように拡大図も提示すること。	H27.6.1ヒアリング	
火山	16	H27.6.1	阿相島テフラ等の給源不明なテフラについては、文献に基づき水底堆積テフラとしているが、その根拠等に係る説明を充実させること。	H27.6.5審査会合	
火山	17	H27.6.1	評価対象火山の抽出フローと抽出結果一覧について記載の整合性を図ること。	H27.6.5審査会合	
火山	18	H27.6.1	降下火砕物の堆積量評価については、積算噴出量の赤の実戦と点線の凡例を記載すること。また、噴火規模の精査の中で、文献からの引用と事業者の評価とがわかるように記載すること。	H27.6.5審査会合	
火山	19	H27.6.1	風向に関する不確かさの考慮において、抽出後データとその元データが示されているが、どのような処理を行ってシミュレーションに用いるデータを作成したかがわかるように説明を充実させること。	H27.6.5審査会合	
火山	20	H27.8.4	完新世に活動を行っていない火山のうち、単一活動として評価した火山については、将来の活動可能性のない火山としているが、それぞれの火山の形式・タイプや現在の噴気活動等も考慮してそのように判断できる事を説明すること。また、「単一活動として評価した火山」の中には、単成火山として評価できるものと、複成火山で活動期間が評価できていないものがあるので、個々に確認して必要であればその評価を修正すること。	H27.8.7審査会合	
火山	21	H27.8.4	評価対象火山の抽出及び堆積量評価フローにおいて、過去の最大噴火規模を、降下火砕物の最大噴出量のみでVEI換算して評価しているのであれば、記載を修正すること。	H27.8.7審査会合	
火山	22	H27.8.4	降下火砕物の影響可能性において、阿相島テフラのボーリングコアだけでなく、不動滝テフラのボーリングコアについても提示すること。また、「水底を流走したテフラ」は表現を見直すこと。	H27.8.7審査会合	
火山	23	H27.8.4	降下火砕物の堆積量の評価において、「山本」は「山元」に修正するとともに、「等厚線図」は「等層厚線図」に表現を見直すこと。	H27.8.7審査会合	
火山	24	H27.8.4	降下火砕物の堆積量の文献を用いた評価において、堆積量の推定結果は各火山ではなく、妙高山だけの結果なので記載を修正すること。	H27.8.7審査会合	
火山	25	H27.8.4	降下火砕物の堆積量の既往解析結果の知見を用いた評価において、富士山ハザードマップ検討委員会報告書の数値シミュレーション結果の位置付け（降灰可能性マップの作成の目的）についても記載すること。	H27.8.7審査会合	
火山	26	H27.8.4	妙高山の火砕物密度流に関する影響評価については、過去の火砕流堆積物の分布域と、敷地周辺の河川水系の範囲（鯖石川）や地形を踏まえて、その発電所への影響の有無について記載すること。	H27.8.7審査会合	
火山	27	H27.8.4	参考文献リストについては、出現順ではなく、例えばアイウエオ順の様に確認しやすい記載順にすること。	H27.8.7審査会合	
火山	28	H27.11.9	原子力発電所に影響を及ぼし得る火山の抽出において、砂子原カルデラについては、各文献の情報を踏まえて階段ダイヤグラムを作成するとともに、その将来の火山活動可能性の評価に当たっては、階段ダイヤグラムだけではなく、その地殻熱流量や地温勾配等も含めて総合的に評価すること。	H28.11.16アリング	

区分	No.	コメント		回答	備考
		日付	内容		
火山	29	H27.11.9	降下火砕物の影響可能性に係る堆積量の評価において、沼沢の降下火砕物に関する最大噴火規模については、階段ダイヤグラムを含めて関連する記載と各文献に記載されているデータとの関係を整理すること。	H27.11.16アリング	
火山	30	H27.11.9	降下火砕物の影響可能性に係る検討において、不動滝テフラと阿相島テフラの観察スケッチについては、その記事を追加すること、また、給源推定地域については、青木・黒川(1996)を引用したものであれば、そのことがわかるように記載すること。	H27.12.14アリング	
火山	31	H27.11.16	沼沢の降下火砕物の噴出量については、噴火イベント一覧表における赤字部分の説明を追記するとともに、階段ダイヤグラムとの整合性も含めて、記載されているデータとの関係を整理した上で、その評価に関わる表現の適正化を行うこと。	H27.11.20審査会合	
火山	32	H27.11.16	砂子原カルデラの評価については、その内容について具体的に明記すること。	H27.11.20審査会合	
火山	33	H27.11.16	参考文献については、題名だけでなく掲載誌名等を追記し適切に表記すること。	H27.11.20審査会合	
火山	34	H27.12.14	降下火砕物の影響可能性において、降下火砕物による荷重については、その記載を密度までに留めるとともに、密度の設定値については、文献調査の結果等を踏まえて、再度、検討すること。	H28.4.25アリング	
火山	35	H27.12.14	降下火砕物の影響可能性において、給源不明なテフラが敷地内で確認されたことを踏まえた降下火砕物の粒径の設定の考え方については、密度の設定の考え方と齟齬をきたさないように整理して説明すること。	H28.4.25アリング	